

学習指導要領		都立竹早高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞いたことに対して、情報を整理して確認したり、追加の説明を求めたりするなど、相手の話に関心を持って聞き続けることができる。</li> <li>・聞き取れない単語や未知の語句や表現があっても、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握して内容を理解し、その後の展開を予想して聞き続けることができる。</li> <li>・200語程度の事物に対する紹介や対話などを聞いて、メモを取るなどして、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を正確に捉え、それらの妥当性を判断しながら聞き続けることができる。</li> <li>・対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を正確に理解し、事実と意見や考えを区別するとともに、重要な事実や説得力のある意見を捉えて、聞き続けることができる。</li> <li>・自然な速さで話された1分程度の対話や討論を聞き、話し手の意見や立場を理解して、自分なりの判断や分析を行うことができる。</li> <li>・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、様々な状況や自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。</li> <li>・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、その後の内容の展開を予想して聞くことができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて英和辞典や英英辞典を活用しながら、700語程度以上の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。</li> <li>・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。</li> </ul>

学習指導要領		都立竹早高校 学カスタンダード
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに気を付けて、適切な速度と音量で、書き手の伝えたいことなどが聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。</li> <li>・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれに係わる「根拠」を明確にすることができる。</li> <li>・専門的な情報（例えば経済・環境・文化などに関するもの）や、統計的なデータ（例えば意識調査や実験結果など）が示されている図表と文章全体におけるその図表の役割を的確に読み取ることができる。</li> <li>・教科書の文章の段落の中で、トピック・センテンスとサポーティング・センテンスの関係を理解し、各段落の役割と文章全体の流れを理解する。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> <li>・英字新聞や雑誌、インターネットを活用し、必要な情報や意見、図表が示す内容を読み取ることができる。</li> <li>・1年間に、サイドリーダーを3冊以上読む。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・700語程度以上の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら論理的な文章で答えることができる。</li> <li>・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、その概要を論理的に英語で相手に伝えることができる。</li> <li>・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして結論を導くとともに、互いの意見の共通点や相違点について、共通認識を得ることができる。</li> <li>・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を揚げたりして、情報や考えを相手に的確に伝えることができる。</li> <li>・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、自分の意図や気持ちに合わせ</li> </ul>

学習指導要領		都立竹早高校 学カスタンダード
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>	<p>て適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で積極的に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりする際に、相手の論点を把握し、自分の考えについて根拠などを示して順序立てて話することができる。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動を活性化させるために必要な文化的背景について理解することができる。</li> <li>・学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して、100～200語程度の文章を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章について、パートごとに、複数の段落からなる要約文を書くことができる。</li> <li>・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに100～200語程度で書くことができる。</li> <li>・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある複数の段落からなる文章を書くことができる。</li> <li>・文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。</li> <li>・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら読み手に伝わりやすく効果的な表現を用いた文章を書くことができる。</li> <li>・必要に応じて和英辞書や英英辞書などを積極的に活用して書く。</li> <li>・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動を深めていくために必要な文化的背景について理解する。</li> </ul>